

区政のごこをきく

一般質問要旨

荒川区の燃えない街づくりと東京オリピック・パラリンピックに向けての取り組みを問う



志村 博司 (自民党)

荒川区の燃えない街づくりを問う
都の不燃化特区事業に区約3割の地域が指定された。木密地域改善のため、指定期間の平成32年までに特区の様々な事業メニューを実現しなければならぬ。地区や事業に優先順位を設定し、集中して取り組むべきと考える。また、特区事業での優先整備路線の総延長と、期間中にどのくらいの割合を幅整備する計画なのかを問う。加えて、事業終了後は補償や助成が出ない問題にはどう考えるのか。さらに、東京女子医大通りは、タクシーの待ち等の問題がある。地域とよく協議し街づくりを進めるべきと考えるがどうか

問 地区や事業に優先順位を設定し、集中して取り組む。あわせて木密地域改善に取り組む。あわせて執行体制のさらなる強化を図り、民間事業者等とも十分に連携して進める。また、優先整備路線の幅幅すき道路は約4600メートルで、事業期間内の整備を目指して行く。一方、事業の終了段階において未整備区間がある場合には、事業期間を延伸するなど治道の方々に配慮した整備に努める。東京女子医大通りではタクシー問

題の改善を図るとともに、道路幅は歩行者の安全確保の方法等を商店街と相談しながら進めていく。東京オリピック・パラリンピックに向けての取り組みを問う
荒川区では「荒川区2020年東京オリピック・パラリンピック推進本部」を設置し、「荒川区

題の改善を図るとともに、道路幅は歩行者の安全確保の方法等を商店街と相談しながら進めていく。東京オリピック・パラリンピックに向けての取り組みを問う
荒川区では「荒川区2020年東京オリピック・パラリンピック推進本部」を設置し、「荒川区

識等の多言語化などの対応を図っていく。障がい者スポーツへの取り組みは、スポーツ振興の観点だけでなく、障がい者と健常者の創出や小中学生への教育効果なども期待できる。車いすバスケットボールの支援や義肢装具サポーターとの連携、パラリンピック種目「ボッチャ」普及の支援など、多くの方が障がい者スポーツ等に参加できるよう取り組む。その他の質問項目
○公共施設の老朽化対策について
○放課後子ども総合プランについて

作業の速度を上げ、年度内の整備完了を目指す。
問 複式簿記の導入に当たっては、東京都方式のように、取引ごとにその都度仕訳を行い、伝票入力を行う、「日々仕訳」を前提とすべきと考えるがどうか
答 日々仕訳により職員にコスト意識と政策による評価が生まれる。会計改革の大変重要な指摘と受け止め、これまで以上に努力する。子育て支援策の充実を問う
問 いわゆる共働き家庭等の「小1の壁」を解消することは喫緊の課題と考える。総合的な放課後児童対策について見解を問う。
答 国から示された「放課後子ども総合プラン」は、「小1の壁」の解消等のため、ここにこすくーるの連携を強く積極的に取り組む。



中村 尚郎 (公明党)

総務省の「今後の新地方公会計の推進に関する研究会」の報告を受けて今後の課題と方向性及び子育て支援策の充実を問う
総務省は、新地方公会計の統一モデルを打ち出し、固定資産台帳整備、複式簿記導入を、全ての自治体に適用する新基準を求めている。区の全体の体制整備及び今後の方向性について見解を問う。
答 現在、関係部課長等による検討委員会に加え、現場の若手職員

による作業部会を設置しており、平成28年度から東京都方式に移行できるように鋭意努力する。
問 固定資産台帳は自治体経営の基盤となる。台帳の整備に当たっては、適切な庁内体制の整備を図り、資産評価に多くの時間を費やすべきではないと考えるがどうか
答 台帳の整備には、膨大な作業と長い期間が必要とされるため、一定程度で割り切る必要性もあり、

住み慣れたまちで住み続ける医療・介護支援を問う
身近な場所に介護施設がもつ必要であり、小規模特別養護老人ホームや介護付き高齢者住宅等の必要量と推進計画を示すべき。
答 第6期荒川区高齢者プランにおいて、地域における介護保険サービスの利用状況を明らかにし、今後のサービスの見込み量や、サービス確保の方策を明らかにする。
問 特別養護老人ホームや宅系
応じたいと考えている。
問 区にこすくーるや学童クラブを利用する保護者からは、延長保育、学校休業時の繰り上げ保育拡大のニーズが高いが見解を問う。
答 平成27年度には二瑞小、四峽小、七峽小の3校でこすくーるを開設する。その3校の学童クラブで午後7時までの延長利用を試行的に実施する。
問 区にこすくーるの全校開設を繰り返し要望してきた。これまでの枠を乗り越え、発想を転換し糸口を見出すべきと考えるがどうか
答 区にこすくーるの平成28年度の全校開設を目指し、学校等との連携を強く積極的に取り組む。

施設の入所者、在宅の重介護者へも生活支援や見守り、リハビリなどが必要で、介護保険の上乗せ等や福祉施策の実施を求める。
答 区はこれまでも介護保険制度上のサービスに加え、地域の力で高齢者を支える活動に努めてきた。今後も高齢者が安心して暮らし続けられるよう取り組む。
問 多くの方が遠くの介護施設などに入所している。お見舞いのためのバス運行はどうか。
答 区にこすくーるの親族が特定日時のバスでお見舞いに行くか勘案すると、運行は現実的でないと考えられる。
問 子育て支援新制度導入後も、これまでの保育・教育の質を落とさず、向上、拡充することを改めて表明するよう求める。
答 新制度施行後も区独自基準を維持し、施設整備助成や専門研修

住み慣れたまちで住み続ける医療・介護支援を問う
身近な場所に介護施設がもつ必要であり、小規模特別養護老人ホームや介護付き高齢者住宅等の必要量と推進計画を示すべき。
答 第6期荒川区高齢者プランにおいて、地域における介護保険サービスの利用状況を明らかにし、今後のサービスの見込み量や、サービス確保の方策を明らかにする。
問 特別養護老人ホームや宅系
応じたいと考えている。
問 区にこすくーるや学童クラブを利用する保護者からは、延長保育、学校休業時の繰り上げ保育拡大のニーズが高いが見解を問う。
答 平成27年度には二瑞小、四峽小、七峽小の3校でこすくーるを開設する。その3校の学童クラブで午後7時までの延長利用を試行的に実施する。
問 区にこすくーるの全校開設を繰り返し要望してきた。これまでの枠を乗り越え、発想を転換し糸口を見出すべきと考えるがどうか
答 区にこすくーるの平成28年度の全校開設を目指し、学校等との連携を強く積極的に取り組む。

施設の入所者、在宅の重介護者へも生活支援や見守り、リハビリなどが必要で、介護保険の上乗せ等や福祉施策の実施を求める。
答 区はこれまでも介護保険制度上のサービスに加え、地域の力で高齢者を支える活動に努めてきた。今後も高齢者が安心して暮らし続けられるよう取り組む。
問 多くの方が遠くの介護施設などに入所している。お見舞いのためのバス運行はどうか。
答 区にこすくーるの親族が特定日時のバスでお見舞いに行くか勘案すると、運行は現実的でないと考えられる。
問 子育て支援新制度導入後も、これまでの保育・教育の質を落とさず、向上、拡充することを改めて表明するよう求める。
答 新制度施行後も区独自基準を維持し、施設整備助成や専門研修

各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録がほしい、区立図書館及び区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できます。
また、荒川区議会ホームページ (<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kugikai/>) で平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

などを通じて保育サービスの充実を図り、保育環境の整備に努める。
問 園庭のない認可保育園が増え、園庭等の確保に対する支援を求める。また、新制度での小規模施設等の職員配置も、全員資格者配置を支援するよう求める。
答 園庭は、全ての保育園で十分な広さを備えることは困難で、公園を活用するなど、保育環境確保に努めている。保育士配置基準は国基準を上回る独自基準とするなど保育サービスの維持向上を図る。
問 学童クラブの内容を薄めるような、区にこすくーるへの一体化を行わないこと。また、学童クラブの朝夕の開所時間延長や、夏休みの昼食に給食の活用を求める。
答 放課後子ども総合プランでは事業内容の一層の充実を図る。総合プランの試行校で利用時間の延長を実施する。夏休みの給食は、衛生等の課題があり困難である。
その他の質問項目
○沖縄県民の声と地方自治を踏みこむに安政政権に怒りの表明を
○大型複合施設予算を凍結し介護、保育など区民生活優先の予算に
○命を脅かす住民税等の滞納差し押さえの見直しを求める



あらいみ あら坊